

## 平成 23 年度 学校教育目標の中間報告

### I 目的

今年度の重点目標を達成するために中間評価を行い、年間を通しての「目標達成のための行動計画・方策など」を見直し、後期に向けての課題を明らかにします。

### II 内容

学年会・部会・委員会で、次の項目について中間報告を行います。

- 1 進路実現に向けた学習活動を実践する。  
【 教務部・研究部・学年会・教科(授業アンケート)・尚学塾校内推進委員会 】
- 2 自治活動を保障し、自治的精神を育成する。  
【教務部・生徒部・学年会 】
- 3 教育課程を検討する。  
【 研究部・学年会 】

### III 評価

#### 1 進路実現に向けた学習活動を実践する

##### (1) 教務部

・適切な授業日数と授業時間を確保しています。本年度においては、次年度への学習の継続を考えて、3月中に特編授業を可能な限り日数を確保しました。

##### (2) 研究部

・校内研修の定着と推進をはかります。  
・授業公開 5/28(土) P T A 総会の公開授業を行いました。  
・校内研修会 6/8(水) 教育支援の研修会を行いました。

##### (3) 学年

1 学年…進路実現に向けた学習活動を実践します。

4月のスタデイサポートや学習オリエンテーション、進路講話、尚学塾、学年集会、HRなどを通して、毎日の授業が大切であることと、家庭学習を含めた学習習慣の確立を繰り返し訴えてきました。その結果、欠席や欠課が比較的少なく、ほとんどの生徒が真面目に授業に取り組んでいます。家庭学習については引き続き呼びかけていきます。また、教科・コースの選択を前に、さらに3者面談などで進路について考えていく機会を持つようにします。

2 学年…高校生活も後半に入り、自覚して勉強に集中する生徒もいる反面、まだ、進路は先のこととして他人事のような生徒も皆無とはいえません。ただ、先日の2学期中間考査では1学期より成績優秀者が増え、9月下旬の学習合宿でもこちらの予想を上回る希望者がありました。これらの意欲的、前向きな姿勢はこれからも伸ばしていきたいと考えます。

3 学年…3 学年になって科目選択の幅も広がり、学習内容もより高度になってきました。今までの学習を基礎として総合的な力が身につくよう授業を進める一方、夏期補習や放課後補習を通して授業の発展的内容や復習なども取り扱い、生徒一人ひとりの希望の実現に向けて支援しています。

#### (4) 進路指導部

- ア 進路実現に向けて入試に関する情報提供や学習意欲の向上等を図り、1年生全員対象・2年生全員対象・3年生全員対象・2年生東大志望者対象・2・3年生医学部医学科志望者対象、以上の順に講演会・入試研究会を実施しました。
- イ 1学年キャリア研修では、131名の生徒が信州大学附属病院・信州大学人文学部・諏訪東京理科大学・久保田法律事務所・キッセイ薬品・松本美術館に分かれて8月2日を中心に実施しました。あわせて大学見学へ行こうという呼びかけもを行い、60名の生徒がオープンキャンパスへ参加しました。
- ウ 2学年では自主的にオープンキャンパスへ参加するよう指導し、143名の生徒が53大学へ行って来ました。

#### (5) 尚学塾校内推進委員会（中間評価）

- ア 尚学塾の実施内容（4～10月）
  - 1年・・・通常講座、校外模試、学力・生活実態調査、講演会、救急救命講座
  - 2年・・・通常講座、校外模試
  - 3年・・・通常講座、校外模試
  - 全学年・・・第1回特別講義（深志13回生 1名による講義）  
第2回特別講義（深志33回生 10名による講義）
- イ 反省・意見
  - ・本年度は定期テスト前の実施を避けたため回数を精選した形になりましたが、生徒の参加率はむしろ向上しています。
  - ・2学年は50分×4コマで運営していますが、特に支障はありません。むしろ、生徒の実態に適しているという意見もあります。
  - ・芸術科、家庭科の先生方にも協力いただいておりますが、引き続き生徒から要望があります。

## 2 自治活動を保障し、自治的精神を育成する

### (1) 教務部

- ア 縮小とんぼ祭の初日は、生徒の活動時間として授業短縮を行いました。
- イ とんぼ祭2週間前から、準備期間として授業短縮を行いました。
- ウ 各学年幹事会の要望により、学年クラスマッチの日程を確保しました。
- エ 合唱コンクール2週間前から、練習時間の確保としてSHRを20分にしました。

### (2) 生徒部

様々な学校行事の企画運営や日頃の委員会活動等を通じて、責任ある立場の生徒を中心に主体的な行動が随所にみられました。  
学校生活全般では、概ね規律のある生活リズムを維持していますが、交通安全面では、様々な場面での啓発が必要になっています。

### (3) 学年

1学年・・・各クラスのルーム長による幹事会を組織し、学年クラスマッチの計画・運営にあたったほか、学友林作業など様々な学年行事においても運営に関わりました。また、評議員とともに生徒会とクラスの橋渡し役としてホームルームの時間に生徒の意見のとりまとめも行っています。これらを通じて、徐々に本校の自治の精神が生徒の意識の中に浸透してきています。

2学年・・・昨年度より「責任感のある規則正しい生活習慣の確立」「ルールの意識化と行動」「安全指導の徹底」などを中心に置いて取り組んできました。ゲーム機の使用など、幼稚な事例もありましたが、機会ある度に学年集会を持って徹底をはかるなどの指導をおこなってきました。

いよいよ生徒会の中心となり、意欲を持って取り組む姿が見え始めたこの時期に、更に自治活動のあり方などについて考えさせて行きたい。

また、昨年と同様、不登校などの悩みを抱える生徒も多くいるので、職員間や家庭との連絡を密にしながら、問題を共有し、解決にあたって行くつもりです。

3学年・・・「協団体深志」をスローガンに掲げ、生徒会の中心的存在として、とんぼ祭や各種委員会の運営を行なってきました。今まで培われてきた伝統を基盤におきつつ、自分たちの新しい発想も取り入れた企画も行ない精神的にも成長してきました。また、学年独自の活動においては幹事会を中心に学校をよりよいものにしようという意識の高揚を図り、生徒の運営による学年クラスマッチの実施など、自主的に活動する場面を設定しています。

### 3 教育課程を検討する

#### (1) 研究部

教育課程を編成する

・平成24年度・25年度入学生適用の教育課程を作成しさらによりよいものを研究しています。現在、新指導要領に基づく教育課程を検討しています。

#### (2) 学年

1 学年・・・学年としての要望を研究部と協議しながら話し合っていきたい。

2 学年・・・特にありません。

3 学年・・・理科については2科目、数学については数ⅡBまでで入試に臨む理系の生徒についての対応が今後の課題です。